

■アート・ドキュメンテーション学会とは

アート・ドキュメンテーション学会は、ひろく芸術一般に関する資料を記録・管理・情報化する方法論の研究と、その実践的運用の追究に携わっています。1989年4月に、美術館/博物館、図書館、アーカイヴ、芸術関連機関の新しい連携をめざし、わが国および国際間における文化的感性と芸術関連情報の創発的な協働のために開設されました。

さまざまな出来事や資料を記録・共有する作業は社会生活の根本をなす人間の営みですが、その理念や技術は現代の情報社会で急速に変容し、飛躍的に発展しています。芸術関連のドキュメントの持つ豊かな可能性は、研究・教育機関のみならず、地域のコミュニティーや個人的な活動でも開発される局面にあるでしょう。

本学会には、図書館司書、学芸員、アーキヴィスト、情報科学研究者、美術史・文学史・音楽史・メディア史・文化史・自然史研究者など、約350名の正会員、学生会員、賛助会員が所属しています。従来の美術館/博物館・図書館・公文書館・アーカイヴおよび学会といった機関や職能を超領域的に融合する新しい学術団体として、本学会は、新しい未知な課題に取り組む方々の参加をえて、活動を展開しています。

本学会は、アート・ドキュメンテーション研究会として創設され、1999年に日本学術会議の第18期登録学術研究団体（情報学・芸術学）に加入後、2005年4月に現在の学会名に改称しました。その後、伝統ある英国美術図書館協会（ARLIS/UK & Ireland）の *Art Libraries Journal* (2013, Vol.38, No.2) の「日本のアート・ドキュメンテーション」特集号の刊行に協力するなど、国際的視野にもとづいて現代社会の要請する人文学と情報学との連動を追究しています。

主な定期的活動として、年次大会、秋季研究集会、学会誌『アート・ドキュメンテーション研究』と会員ニュース誌『アート・ドキュメンテーション通信』刊行ほか、さまざまな研究集会・

見学会、グループ活動、国際交流を実行しています。学会内の各委員会・グループはつねに、今日的要請に即したデータベースの構築、アーカイヴ・デザイン、また個別的な応用課題の解決に取り組み、着実な成果をあげています。

■活動内容

- ・研究会、講演会、見学会の開催
- ・地区部会と SIG の活動
現在、関西地区部会があり、自由に参加できます。
また、日常活動の場として、会員の興味に応じて SIG（スペシャル・インタレスト・グループ）を結成することができます。現在、美術館図書室 SIG、デジタルアーカイブサロン SIG があり、自由に参加できます。（地区部会・SIG 連絡先：
<http://www.jads.org/contact/contact.htm>）
- ・学会ウェブサイト（日本語版・英語版）の開設による情報提供・交換及びメーリングリストによる会員交流
- ・情報・資料の収集・交換・提供
- ・アート・ドキュメンテーション関係者の交流
- ・通信誌『アート・ドキュメンテーション通信』（年3回）、年刊論文誌『アート・ドキュメンテーション研究』の発行
- ・『アート・ドキュメンテーション関連文献目録』の作成・維持（上記『研究』および学会ウェブサイトで提供）
- ・『アート・ドキュメンテーション関係機関要覧』の作成・維持（学会ウェブサイトで提供）
- ・ドキュメンテーション関係諸機関・組織との幅広い連携
- ・IFLA（国際図書館連盟）の協会会員として、美術図書館分科会の活動への参加・協力
- ・ARLIS/UK&Ireland 等各国の同種組織との連携
- ・国際会議等参加支援のための助成金の支給
その他、この会の活動に必要な事業を行います。

■ 会員の特典

- ・本学会の行う研究会・講演会・見学会などの活動に優先的に参加できます。
- ・通信誌『アート・ドキュメンテーション通信』(年3回)、論文誌『アート・ドキュメンテーション研究』(年1回)の配布を受けられます。

■ 年会費〔年度単位〕

会員種別により、以下の会費となります。

- ・正会員 6,000円
(ただし、65歳以上は4,000円〔自己申告制〕)
- ・学生会員 4,000円
(大学学部、大学院などに在学中の学生、申込時に在学証明書または学生証のコピーを提出していただきます)
- ・賛助会員(個人または機関・団体) 一口以上
(一口 30,000円)
- ・団体購読会員 12,000円

■ ウェブサイト

- ・活動の詳細については、学会ウェブサイトをご参照ください。 <http://www.jads.org/>

■ 入会方法

- ・学会サイトから「入会申込書」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、下記の間合せ先に郵送またはメール添付にてお送りください。役員会にて入会を承認された方に、初年次の年会費の振込用紙を送付します。なお、本学会は会費の入金をもって入会手続の完了とします。

(入会申込書：<http://www.jads.org/contact/contact.htm>)

- ・お問合せ・お申込み・

アート・ドキュメンテーション学会事務局

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル 9F (株) 毎日学術フォーラム内

Tel: 03-6267-4550 Fax: 03-6267-4555

E-mail: maf-jads@mynavi.jp

『アート・ドキュメンテーション研究』1号, 1992年3月

目次

- 『アート・ドキュメンテーション研究』に期待する／高階秀爾, p.3
創刊にあたって／波多野宏之, p.4
アート・ドキュメンテーション序説／大久保逸雄, p.5-19
展覧会カタログの情報管理／嘉数周子, 住広昭子, 田窪直規,
松井純子, p.20-35
<研究ノート>美術分野における灰色文献／種市正晴, p.36-40
<海外美術図書館研究入門1>ソ連東欧の美術図書館／波多野宏之,
p.41-48
視覚芸術研究におけるコンピュータ利用の概況: 1991 / ナディン・
ウォルター著; 水谷長志訳, p.49-69
アート・ドキュメンテーション研究会第2回講演会: アメリカの
アート・ライブラリー: 21世紀に向かって / サラ・スコット・ギ
ブソン著; 水谷長志訳, p.70-78
アート・ドキュメンテーション研究会第3回講演会: フランスの図
書館美術館における画像通信 / リュスマリ・アルビシエス著;
波多野宏之訳, p.79-88
<レビュー><ファッション>に関する主題分野の考察 /
平井紀子, p.89-96
アート・ドキュメンテーション関連文献目録・暫定予備版 (1981
-1991) / JADSクリアリングハウス編, p.97-107
1980年以降のアート・ドキュメンテーションをめぐる様々な動き:
本研究会の活動を中心に, p.108-113
アート・ドキュメンテーション研究会会則, p.114-115
会員名簿, p.116-124
編集後記, p.125



Art Libraries Journal (2013, Vol.38, No.2)

「日本のアート・ドキュメンテーション」特集号